

開催報告



GIII vol.126 プロジェクトH いろんなじじょう

会期 2018年11月28日(水)-2019年2月11日(月・祝)

会場 熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ、井手宣通記念ギャラリー

出品デザイナー 岡崎友則(北九州)、河野靖弘(北九州)、春高壽人(福岡)、
宮崎智文(福岡)、中村圭太(長崎)、井下悠(大分)、
杉村武則(熊本)、富永功太郎(鹿児島)

ゲストデザイナー ワビサビ(札幌)

PROJECT H(プロジェクト アッシュ)とは、JAGDA(公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会/Japan Graphic Designers Association)会員のデザイナー、河野靖弘、春高壽人、宮崎智文らを中心に、2016年に福岡で結成されたデザイン・ユニットです。これまで、「wwwwwー笑うグラフィック」展(2016年11月1日-13日、福岡イムズ 5階 特設会場)及び、同展ポスター(7枚連作)が年鑑『Graphic Design in Japan 2017』入選。翌年、「wwwwwー笑うグラフィック」展(2017年10月18日-31日、福岡イムズ4階 紀伊国屋書店及びエスカレーター横特設会場)を実施するなど、メンバーや場所を入れ替えながら活動を続けてきました。

今回は、熊本を会場として、九州各県で活躍するデザイナー8人に、札幌からのゲストデザイナー1組を加え、「いろんなじじょう」をテーマに、ゆるやかなつながりを持ちながら、新たな表現をともに探っていく試みを行いました。会場には、九州ならではののお菓子や焼酎などのパッケージから、ご当地アイドルグッズ、美術館や観光パンフレットなど、各地の姿が浮かびあがってくるような各デザイナーの制作物が壁一面に展示され、来場者を迎えました。そして、主たる取り組みとして、青、黄、茶、桃、黒、紫、橙、赤とメンバー各自のテーマカラーを設定し、ポスター、オブジェ、タペストリーのほか、オリジナルのウェアも制作。他にも、ティザー映像やステッカーなどのアイテム、カタログ作成、ギャラリートークを実施するなど意欲的に取り組みました。通常、クライアントと共にプロダクトを生み出していくのがデザイナーの商業的な仕事の一面ですが、この展示では、デザイナー達自身がクライアントとなっている事が特徴です。ベテランも若手も、一触即発、喧々諤々の議論を経て、これまでの経験と腕を競い、新たな表現を探ることで、九州のグラフィック・デザインの今を知り、地域に根差したデザインの未来を考えることができた展示となりました。

編集：坂本顕子(熊本市現代美術館学芸事業班主査・学芸員)



